

A建設株式会社

(仮称) B計画新築工事

空気音遮断性能測定

測定報告書

平成 ××年 ××月

環境スペース株式会社

環境事業部 Kankyo Space Inc.

1. 調査概要

1-1 調査目的

本調査は、「(仮称) B計画新築工事」における建物内の音環境を測定し把握することを 目的とする。

1-2 調査建物の概要

(1) 名称

(仮称) B計画新築工事

(2) 所在地

東京都〇〇区〇〇町 1丁目 2番地 3号

(3) 建物概要

共同住宅 地上××階 RC構造 総戸数××戸

1-3 調査日時

平成××年××月××日 PM4:00～7:00

1-4 調査項目

① 空気音遮音性能測定

当該測定は、特定住戸における界壁間の空気音遮断性能を把握する。

1-5 調査機関

環境スペース株式会社

東京都計量証明事業所登録 第1307号

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿3-28-12 ATYビル3F

TEL 03-5795-1215 FAX 020-4669-0341

2. 測定結果／分析

2-1 空気音遮断性能の測定

(1) 測定方法

空気音遮断性能の測定は、JIS-A-1417-2000「建築物の空気音遮断性能の測定方法」に準拠し、音源室に設けられた広帯域雑音発生器よりピンクノイズを室内に均一な音圧分布になるように発生させて、音源室内 5 点の音圧レベルと受音室内 5 点の音圧レベルを測定し、音源側の平均音圧レベルと受音側の平均音圧レベルから室間音圧レベル差を求め、その結果より D 値を算出し評価する。測定周波数範囲は、125Hz～4000Hz の 1/1 オクターブバンドとする。

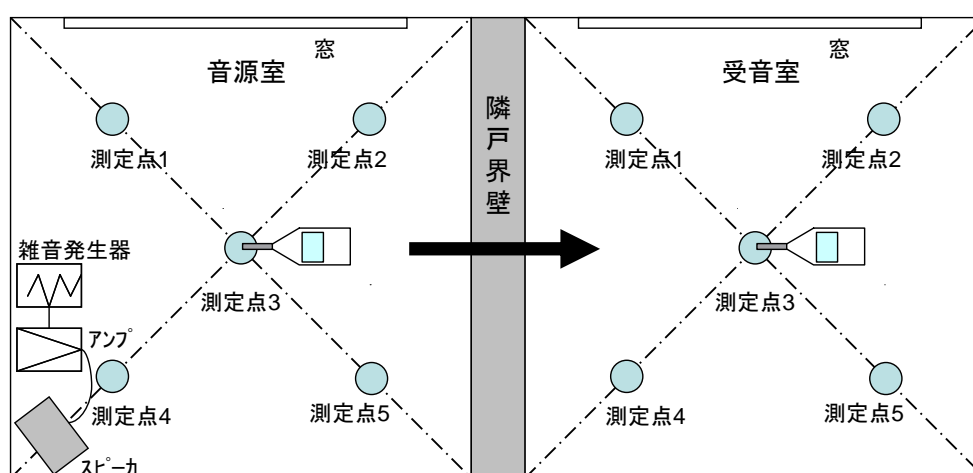


図1 空気音遮断性能測定概要

(2) 測定結果（測定位置図は別添資料参照）

Fig.	音源室		→	受音室		測定結果 Dr 判定
	部屋番号	音源		部屋番号	受音	
D-1	100	洋室		101	洋室	Dr-55

(3) 使用機器

- ・騒音計 NL-23 (リオン) 1台
- ・広域雑音発生器 CD
- ・パワーアンプ (BOSE) 2705MX
- ・スピーカー (BOSE) 802-III

空気音遮断性能測定
測定位置図(Fig. D1)

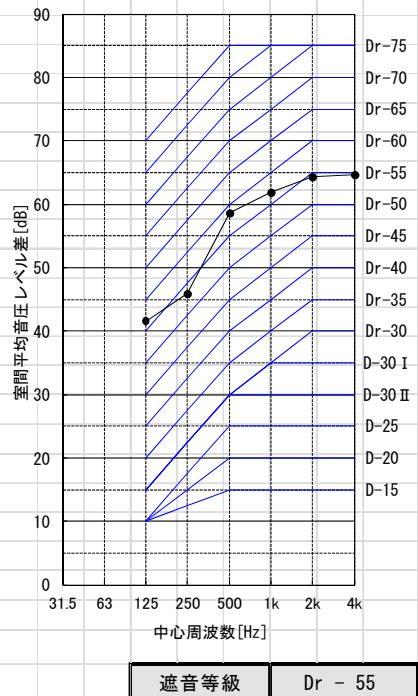


Fig-D1 空気音遮断性能

測定日	:	
測定場所	:	B計画
測定箇所	:	隣戸間遮断性能
音源室	:	100号室 LD
受信室	:	101号室 LD

		中心周波数[Hz]							
		63	125	250	500	1k	2k	4k	
音源	1	87	88	95	98	97	96	92	
	2	83	89	97	96	95	94	90	
	3	81	89	96	98	96	94	91	
	4	87	90	94	101	98	97	93	
	5	86	90	97	98	95	94	90	
側	平均値[dB]	85	89	96	99	96	95	91	
受音	1	64	49	44	40	34	31	26	
	2	64	50	47	40	35	31	28	
	3	52	48	44	39	34	31	27	
	4	59	45	43	40	34	30	26	
	5	56	43	44	40	35	31	26	
側	平均値[dB]	61	48	50	40	34	31	27	
暗騒音レベル[dB]		34	29	27	21	20	14	12	
補正值[dB]		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
音圧レベル差[dB]		24	42	46	59	62	64	65	

: 測定不能



(参考資料) 日本建築学会基準

表1 集合住宅の遮音等級と適用等級

室用途	部位	適用等級			
		特級	1級	2級	3級
居室	室内騒音		35dBA	40dBA	45dBA
	隣戸間界壁、界床	D-55	D-50	D-45	D-40
	隣戸間界床(軽量床衝撃音)	L-40	L-45	L-55	L-60
	〃 (重量床衝撃音)	L-45	L-50	L-55	L-60 L-65*

※ただし、*印は木造・軽量鉄骨造集合住宅の重量衝撃源のみに適用する。

表2 適用等級の意味

適用等級	遮音性能の水準	性能水準の説明
特級	遮音性能上 特にすぐれている	特別に高い性能が要求された場合の性能水準
1級	遮音性能上 すぐれている	建築学会が推奨する好ましい性能水準
2級	遮音性能上 標準的である	一般的な性能水準
3級	遮音性能上 やや劣る	やむを得ない場合に許容される性能水準

- ・ピンクノイズ発生装置

